

諸福小だより

～一人ひとりが生かされ 笑顔あふれる学校～

大東市立諸福小学校
校長 田村 ひとみ
令和3年9月24日(金)
☎ 072-873-5816

10月9日(土)は創立記念日です。

諸福小学校は今年で48年目を迎えます。

昭和49(1974)年4月1日に南郷小学校から分離し、新1年生から4年生763名を迎えて開校しました。その後、昭和48(1973)年10月9日に校舎建設地鎮祭が行われたことから、この日が創立の日と定められました。

児童数が一番多かった時には1,429名もいたそうです。ちょうど今の2倍ぐらいです。私には想像もつきません。今も職員室の近くに一期生の作品である彫刻の作品が飾ってありますが、4年ほど前に、この作品を作った卒業生の方が「見せてください」と学校に来られたことがありました。他にもいくつか過去の卒業生の作品が階段の踊り場などに飾られています。今の児童の保護者の作品もあるかもしれません。

本校の学校教育目標は創立時からずっと「一人ひとりが生かされ笑顔のはずむ学校」です。みんなが笑顔になれるよう、教職員一同、これからも頑張っていきます。

SC/SSWも「チーム学校」で子育て家庭を支えます。

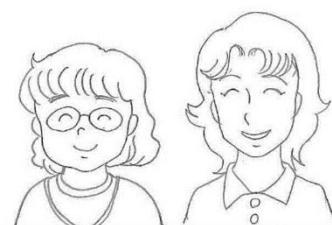
大東市内の中学校にはSC(スクールカウンセラー)が、小学校にはSSW(スクールソーシャルワーカー)がいます。そして、その校区の小中学校どちらからも相談が可能です。

SCさんは心理面でのサポート、SSWさんは福祉面でのサポートが専門の職員です。実は、SSWさんがこの9月から10月にかけて4年生のご家庭のポストに直接アンケートを配布しています。これは大東市教育委員会の取り組みで、子育て家庭のニーズを調査するのが目的ですので、前もってお知らせします。

本校のSSWさんも諸福中学校のSCさんも火曜日が勤務日になっています。

子どもの学校生活に関わって相談したい場合は、**まずは担任か教頭まで**お知らせください。調整の上、相談の機会を設定します。

この他にも相談機関として、大東市の「教育相談室」で元校長の相談員が電話で子育てに関する相談を受け付けています。詳しくは大東市報をご覧ください。



SCの森田さん SSWの浜田さん

授業アンケートの提出にご協力をお願いします。

本アンケートの主な目的は、お子様のご意見を聞き取った上での回答を適切に保護者に記入していただくことです。9月に予定していた授業参観が中止になって、保護者の皆様には一度も授業をご覧いただく機会がなくて申し訳ございませんが、必要な調査ですのでご協力をお願いいたします。どうしても回答できない部分は空白でも結構です。詳細は別紙のお手紙をご覧ください。



毎日校内でうれしい出来事がいっぱいあります！

校舎内をまわっていると、トイレのスリッパをそろえてくれている子を見かけました。「ありがとう！」と声をかけると小さくうなずいてくれました。

他にも先生たちから聞いた話では、6年生が運動場の草取りをしてくれたり、給食を運ぶときにこけた低学年の子を上級生が助けてくれたり、いろいろ素敵な事があるようです。してくれた子らは「あたりまえ」と思っているかもしれませんが、それはとても尊いことだと思います。

全校での「音楽会」はないけれど

10月中ぐらいにクラスごとに音楽の授業で取り組んできた曲をビデオで撮影します。今年は歌やりコーダーに取り組むのが難しいので、鍵盤楽器・打楽器やボディパーカッション等が中心です。各クラスとも曲の練習が始まっていて、授業中はいつもどこかのクラスの曲の音が聞こえています。

感染拡大の状況から10月は、音楽会を含め「学校行事」としての取り組みは少ないですが、子どもたちは日々、いろんな学習活動に頑張っていて取り組んでいます。ぜひ、お家でも話をきいてあげてください。

(学習の様子は一部、ホームページで紹介しています。)



《10月行事予定》

- 4日(月) 委員会(5,6年生)
- 11日(月) 児童集会
- 25日(月) 読み聞かせ
- 26日(火) 脊柱側弯症検診(5年)

火曜日と木曜日は各クラスでの放課後学習ができる日になっています。一部児童が放課後に残って教室で学習することがありますが、4時15分までに下校します。

学校で PC を使えば学力は上がるのか？

※記事引用元

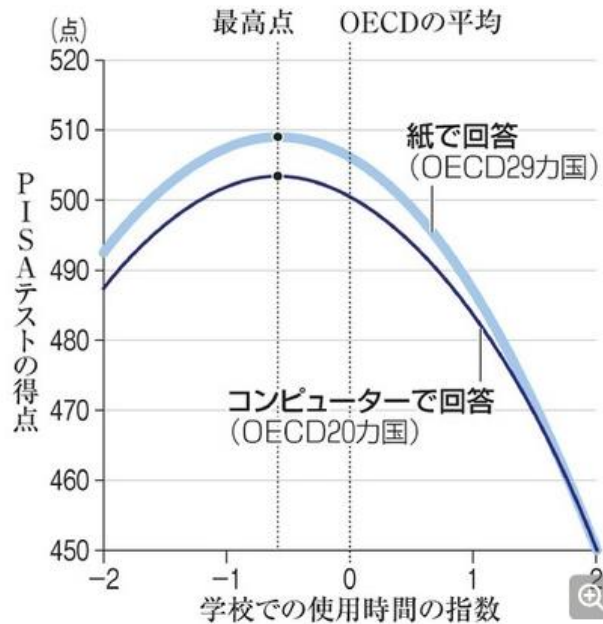
⇒ 朝日新聞デジタル

2021年5月27日

「PC1人1台で学力低下？」

東大名誉教授の佐藤学さんによると、「実は、ICT教育によって学力が上がるという研究結果はほとんどありません。」「一番信頼できるデータは、国際学習到達度調査（PISA）の調査委員会が2015年にまとめた報告書です」「学校でパソコンを全く使わないよりは、適度に使った生徒の方が成績はいいのですが、使う時間が長くなればなるほど読解力も数学の学力の点数も下がっています。⇒グラフ」ということです。

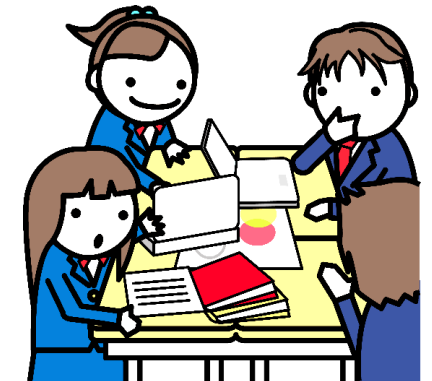
学校でコンピューターを使う時間が長すぎると、読解力は下がる PISAの2015年報告書から



学校でコンピューターを使う時間が長すぎると、読解力は下がる

また、なんとなく PC を使う時間が長引くと、その時間は他のことをする時間を奪います。たとえば新しい漢字を覚えたり、計算の練習をしたり、自分の手を使って作ることや体を鍛えることをするための時間です。これからもこういう基本の学習が必要であることは変わりません。学習用の PC ソフトを使ったり解説動画を見たりする学習方法はとても有効ですが、これにはちゃんと目的を持って取り組まないと、力として身につけません。

今後、生活する場所や環境が変われば、PC が使えないこともあります。その時にまず頼りになるのは「自分の体や頭を使ってできること」ですね。これを身につけるには地道な学習活動がこれまでどおり必要です。それに加えて、今の社会に必要なスキルや考え方を学ぶための PC であると思います。PC が家でも学校でも使えるようになって便利ですが、目的を持って、使い過ぎに気を付けて、上手に使うように、ご家庭でも子どもたちにご助言をよろしくお願いします。



～ ここからはこの記事から私（田村）が考えることですが ～
… つまり、使い過ぎはよくないということですね。記事には続きがあって、有料記事なので読めませんでした。でも、上記は調査の結果からわかる事実です。

私は日々、校内の教室でタブレット PC を使用した授業を見ています。その授業の内容は、インターネットを使って、授業で学んだことを社会の動きにリンクさせて理解させる内容であったり、新しく教育課程に入ってきたプログラミング教育であったり、自分の考えを映像等も使って交流する主体的で対話的な深い学びをめざしたものであったり、どれもとても有意義なものばかりです。

ところで、PC にはいろんな機能があるので、多くの子どもたちは PC を使うのが大好きです。ですから、子どもたちはうっかりするとインターネットの記事などを興味のわくものだけ読みふけったり、そこにある記事をよく理解もしないままに正解であるかのように受け取ったりしてしまいます。これは大変危険なことです。